

# 「長崎県インフラDXアクションプラン」を作成しました

DXとは、『デジタル トランスフォーメーション』の略で、デジタル技術の活用による変革という意味です。今後、進行していく少子高齢化社会でも、限られた人数で道路・ダムなどのインフラ整備やそれらの維持管理、災害時の対応などができる体制を整えるため、建設業における働き方を変革する必要があります。

そのようなことから、長崎県では、更なるインフラDX推進のため、県内建設業の目指す姿や目標を示した「長崎県インフラDXアクションプラン(第0版)」を作成しました。

## インフラDXアクションプランの構成

アクションプランは全6章となっており、「インフラ分野のDXの取組」と「災害対応におけるDXの取組」の2つの柱で構成されています。

詳しくは長崎県HPに  
全体版を掲載していますので  
ご覧ください。▶



- |     |                    |   |
|-----|--------------------|---|
| 第一章 | 総論                 |  |
| 第二章 | 目指す姿と取組体系          |   |
| 第三章 | インフラ分野のDXの取組       |   |
| 第四章 | 災害対応におけるDXの取組      |   |
| 第五章 | その他の取組             |   |
| 第六章 | 重点項目 KPI(重要業績評価指標) |   |

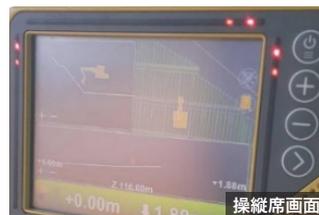
## インフラ分野のDXの取組例



3Dモデルによる設計



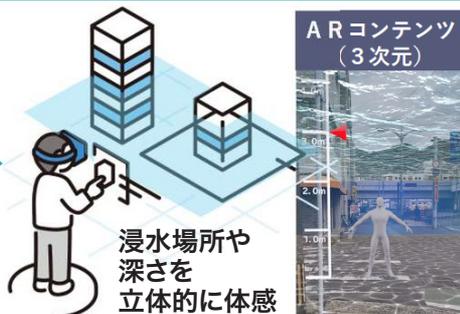
ICT建設機器による半自動施工



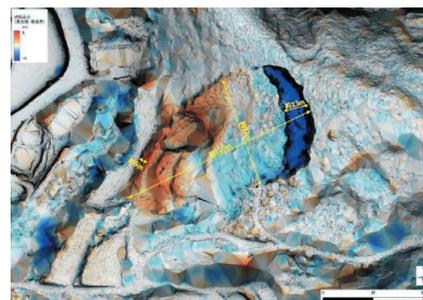
操縦席画面

## 災害対応におけるDXの取組例

ARコンテンツによる  
災害体験



航空レーザーによる  
災害状況把握



官民が連携し、建設業のDX実現に向けて、できるところから積極的にチャレンジしていきます。今後、様々な技術を取り入れながらインフラDXアクションプランの更なる充実を図り、定期的に更新していきます。

本アクションプランや  
インフラDXに関する  
お問い合わせはこちら!!

